



岐阜大学 (岐阜県)



本プログラムでは、指導教員のアドバイスを受けて、教育現場と密接に連絡をとりながら研修をすることができます。また、歴史探訪旅行や地域文化交流などの企画が用意されています。

◇大学紹介

○大学の概要

岐阜大学は、教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部の5学部があり、大学院は教育学研究科はじめ8研究科があります。また、教育学部には、特別支援教育センター、学習協創開発研究センター、附属小・中学校が附設されています。

岐阜大学は岐阜市 [岐阜市は、名古屋市から約30 km]の西にあり、大学の近くを流れる長良川は、鶴飼で有名である。岐阜市の近くには世界遺産に登録された白川郷をはじめ、名所旧跡と自然環境に恵まれた地域に大学がある。

○国際交流の実績

・大学間交流協定数

18カ国48大学1機関 (2018年5月1日現在)

・留学生数

311名 (2016年5月1日現在)
322名 (2017年5月1日現在)
357名 (2018年5月1日現在)

・受入実績

教員研修留学生の受入れ数は過去5年間で7名受け入れています。

◇教員研修コースの概要・特色

○コースの特色

岐阜大学では、1982年から教員研修留学生の受入れをはじめ、2017年度までに103名の修了生を出している。研修のプログラムは、研修生の課題をもとに指導教員のアドバイスを受けて、教育現場と密接に連絡をとりながら、研修することができます。また、学内の図書館、研究施設を希望に応じて利用ことができ、インターネットを利用して国内外の様々な教材データベースも利用できる。一旦帰国してからでも、本学の大学院（教育学研究科）への進学を目指すこともできる。

○受入定員 5人以内

○研修コースの概要

・日本語教育

専門教育研修のために日本語教育が必要な外国人留学生には、岐阜大学において、6か月間集中的に日本語教育を受けることができる。

・専門教育

I. 形態

指導教員自らが個々の外国人留学生のために作成したプログラムとスケジュールにより実施する。

II. 英語による授業科目

必要に応じて指導教員が英語による指導を行う。

・その他

- ①夏季休暇中などには、外国人留学生のための地域文化や産業施設などを見学研修する旅行がある。
- ②小学校・中学校の見学や、地域の国際交流の機会を活用し、積極的な参加交流を推進している。
- ③日本人学生と共に、教育学研究科の講義を日本語で受講する。

◇修了生へのフォローアップ

研修修了後のキャリア形成等について相談に応じている。

◇宿 舎

来日後、研修留学期間中（1年6ヶ月間）は岐阜大学の国際交流会館に入居可能。

○宿舎数

- ・単身用：69室
- ・夫婦用：14室
- ・世帯用：7室

○宿舎費（月額）

- ・単身用 A棟 5,900円 B棟4,700円
- ・夫婦用 A棟11,900円 B棟9,500円
- ・世帯用 A棟、B棟とも14,200円

○宿舎設備・備品

各階にキッチン1部屋（共同）、洗濯室。A棟は各室にユニットバス、B棟は各室トイレのみ。B棟は各階にシャワールーム（共同）設置。

備品：冷蔵庫、机、イス、本棚、ベッド、洋服タンス、エアコン、カーテン、ゴミ箱、下駄箱等。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

宿舎はキャンパス内にあり、キャンパス内にはコンビニエンスストア等がある。

◇問い合わせ先

大学所在地 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1
担当部署 岐阜大学グローバル推進本部
留学支援室留学支援係

連絡先 TEL：058-293-2142/FAX：058-293-2143

E-mail direcent@gifu-u.ac.jp

ホームページ <https://www.gifu-u.ac.jp/>